

タイトル

スクラッチアートを楽しもう！

この自由研究でやること / 知りたいこと

スクラッチアートをテーマに色の明るさやあざやかさについて調べる
知りたいことは、色の明るさやあざやかさについて

きっかけ：なんでこの自由研究をやろうと思ったのか？

夏休みのイベントで、スクラッチアートをやったから。

この自由研究の進め方(材料と手順)

材料

画用紙、おりばし、クレヨン

手順

- ① 明るい色のクレヨンを4色ほど使って下地をかく
- ② その上から黒いクレヨンを使ってぬりつぶす
- ③ おりばしを使って黒いクレヨンをけずって、絵を描く

予想

色をたくさん使った方がきれいに見える予想する

結果 / わかったこと

色をしっかりぬった方が、きれいに見える

感想

夏休みの思い出を絵にすることができてよかった

参考資料

「タブレットやクレヨンを使って、スクラッチアートを描いてみよう」

タイトル

色の魔法!スクラッチアートで学ぶ色の見え方

この自由研究でやること

スクラッチアートをテーマに色の明るさやあざやかさについて調べる

この自由研究で知りたいこと

色の明るさやあざやかさについて知りたい

きっかけ：なんでこの自由研究をやろうと思ったのか？

スクラッチアートが楽しそうだったから。

この自由研究の進め方(材料と手順)

材料

画用紙、おりばし、クレヨン

手順

- ① 明るい色のクレヨンを4色ほど使って下地をかく
- ② その上から黒いクレヨンを使ってぬりつぶす
- ③ おりばしを使って黒いクレヨンをけずって、絵を描く

予想

色のついていないおりばしを使っているのに、カラフルな線で絵をかくことができる予想する

結果

カラフルな線で絵を描くことができた

わかったこと

きれいに見える色の組み合わせや、くっきり見える色の組み合わせがあることがわかった

なんで結果のようになったのだろう？

色の明るさとあざやかさが関係している。

白に近い明るい色を「高明度」、黒に近い暗い色を「低明度」、その中間の明るさの色を「中明度」と言う。

この自由研究で知ったことが使われている例

色のユニバーサルデザイン

弱視の人(視覚障害者)にも見えやすいような色の使い方に、色の明るさが関係している。



感想

色の明るさやあざやかによって見え方が変わることがわかった

また、同じものを見ていても、それぞれ違う見え方で見えていることもわかった

参考資料

「タブレットやクレヨンを使って、スクラッチアートを描いてみよう」
「色の三属性と色立体とは」
「伝わるデザイン 配色のバリアフリー」

詳しい結果

年 組 名前：

たくさんつくったスクラッチアートを貼ってみよう！

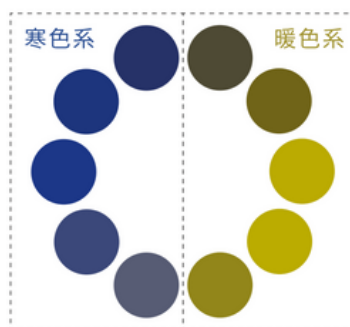
色の見え方は人によって異なります。

たとえ同じものを見ていても、人はそれを違う色や形で感じることもあります。

たとえば、虹の色を見ると、7つの色に分ける見え方の人もいれば、7つの色に分けない見え方の人もあります。



色がはっきりと見える



色がはっきりと見えにくい

ピーマンの見え方のちがい

<C型の例>



<P型の例>



<D型の例>



<T型の例>



<A型の例>



他にも、感覚過敏をもつ人の中には、発色の強い色やコントラストの強い色の組み合わせ、たくさんの色が使用されているものは刺激が強すぎるため気分が悪くなってしまう人もいます。

だから、誰にでも見えやすい色の使い方をする方がいいとされています。

参考文献はこちら



ヒトの色の感じ方
- 色弱者とは